

なえちゃん★ぼーちゃんの

園研究のは・な・し

マスコットキャラクター
ー なえちゃん&ぼー
ちゃんです！



みなさま、こんにちは！

ひがしなえぼ幼稚園では、札幌市の研究実践園として幼児教育の質の向上を目指し、園の研究や保育に取り組んでいます。

私たちが学び合ったことをなえちゃん★ぼーちゃんの園研究のはなしでお知らせします。子どもたちの成長を保護者・地域の皆様と一緒に見守り、支えていきたいと考えています。どうぞよろしく願いいたします。

研究主題	「質の高い幼児教育の実現に向けて」（札幌市立幼稚園共通） ～つながる ひろがる 札幌市の幼児教育～
副主題	『幼保小連携・接続のよりよい推進のために』（北区・東区共通）
重点	『子どもたちの学びをつなぐために』
視点	主体的・対話的で深い学びの充実

今年度から新しい
研究になります！

今年度から、札幌市における「つながる ひろがる 札幌市の幼児教育」の実現に向けて、市内各区の研究実践園は、5つの基本施策について実践研究を進めていくこととなりました。

- 1 多様な教育・保育環境における幼児期にふさわしい生活のために 豊平区・清田区
- 2 遊びを通した幼児の学びとは 白石区・厚別区
- 3 一人一人に寄り添い、共に育ち合う集団作りのために 西区・手稲区
- 4 幼保小連携・接続のよりよい推進のために 北区・東区
- 5 園と家庭が一体となって子どもの育ちを支えるために 中央区・南区

本園は、北区研究実践園 白楊幼稚園と共に副主題「幼保小連携・接続のよりよい推進のために（基本施策4）」というテーマで3年間研究を進めていきます。

そして、幼児期と児童期での学びの違いから戸惑いや不安を感じることなくスムーズに接続できることは、子どもたちの学びの連続性につながっていくと捉えて本園独自の重点を「子どもたちの学びをつなぐために」としました。そして、北翔大学教育文化学部教育学科 教授 磯島年成氏を研究のアドバイザーとしてお願いしご助言をいただきながら研究を進めていきます。



幼児期

遊びを中心として様々な対象と直接関わりながら
総合的に学んでいく『**学びの芽ばえ**』



児童期

課題に興味をもち自分の課題として受け止め
意欲的に学ぶ『**自覚的な学び**』



研究の進め方



幼児の育ちを支えるために

- ① 3歳・4歳・5歳それぞれの終わりまでに育ってほしい姿を話し合っ共有したうえで、学び・育ちを支え、方向を確認する。
いろいろな姿をまとめました

3歳 ・安心感 ・自分なりの思い ・遊びへの意欲 友達への親しみ	4歳 ・安心感の再構築 ・興味や関心の広がり ・友達への思い	5歳 ・試行錯誤 ・見通しをもつ ・友達と目的に向かう
---	--	---

- ② 保育のエピソードから幼児の姿の見取り(主體的・対話的で深い学びが見られる)、教師の援助、環境の構成を考える。

どうしてそう思いました?

何が楽しいのでしょうか?

何をしました?

- ③ エピソードから1年の学び・育ちをまとめ、「**幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿**」を通して育ちを確認、援助・環境の構成をまとめる。
「**幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿**」の育ちが、幼児期にどのようにつながっていくのかまとめる。

安心して過ごしています

友達と積極的に遊んでいます

意欲的に取り組んでいます

東苗穂小学校との連携

幼児と児童 行事見学・1年生、5年生との交流



1・2年生の運動会玉入れの見学をしています。

昨年経験したことを思い出して言葉にしてみました



学校の先生の話聞いています。

学校の存在が近く感じているようでした

環境 学校の農園・グラウンド・校舎

これから進めて行く予定です。

教師同士 スタートカリキュラムの学び
授業参観・小学校研究授業参加
幼稚園合同研修会
幼稚園見学



1年生の授業参観へ

1年生生活科朝顔の観察

注目して観察できるような指導、1年生が学習する姿を認めることで、意欲的に取り組む姿が見られました。

子どもたちの学びをつなぐ

1年間このような形で進め、内容は研究通信でお知らせします。よろしくお願いします。



東区・白石区 幼保小合同研修会のお知らせ

「気になる子どもの視点で 保育を見直してみませんか」
～「一人一人の輝きが 大切にされる保育を目指して」～

独立行政法人国立特別支援総合研究所
インクルーシブ教育システム推進センター
上席総括研究員(兼)センター長
久保山 茂樹 氏

日時:令和4年10月5日(水)
15:00~16:30
オンラインで開催 改めてご案内します